

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【公表番号】特表 2011-502375 (P2011-502375A)

【公表日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2011-003

【出願番号】特願 2010-528784 (P2010-528784)

【国際特許分類】

H 0 4 N 13/00 (2006.01)

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 13/00

G 1 1 B 20/12

H 0 4 N 5/91 Z

G 1 1 B 20/12 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 13 日 (2011.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ステレオスコピックコンテンツを構成する第 1 基本符号化ストリームおよび第 2 基本符号化ストリームの参照情報の入力を受けるステップと、

前記参照情報を保存するための参照情報領域を含むファイル構造に前記参照情報を保存するステップと、

を含むことを特徴とするステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 2】

前記ファイル構造が、

前記第 1 基本符号化ストリームおよび前記第 2 基本符号化ストリームを保存するためのコンテンツ領域をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 3】

前記ファイル構造が、

I S O ベースメディアファイルフォーマットに基づいた構造であることを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 4】

前記参照情報が、

前記第 1 基本符号化ストリームおよび前記第 2 基本符号化ストリームの参照関係を定義する関係性情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 5】

前記第 1 基本符号化ストリームおよび前記第 2 基本符号化ストリームが、モノスコピック区間を備え、

前記参照情報が、

前記モノスコピック区間をディスプレイする時、前記第 1 基本符号化ストリームおよび前記第 2 基本符号化ストリームのうちディスプレイする基本符号化ストリームを定義する情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 6】

前記ステレオスコピックコンテンツが、左右のビューシーケンス (left/right view sequence) で構成され、

前記左のビューシーケンスが、前記第 1 基本符号化ストリームを構成し、

前記右のビューシーケンスが、前記第 2 基本符号化ストリームを構成することを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 7】

前記ステレオスコピックコンテンツの区間情報を含むステレオスコピックビデオメディア情報の入力を受けるステップと、

前記ステレオスコピックビデオメディア情報を保存するためのビデオメディア情報領域をさらに含むファイル構造に前記ステレオスコピックビデオメディア情報を保存するステップと、

をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 8】

前記ステレオスコピックコンテンツに対するステレオスコピックカメラおよびディスプレイ情報の入力を受けるステップと、

前記ステレオスコピックカメラおよびディスプレイ情報を保存するためのカメラおよびディスプレイ情報領域をさらに含む前記ファイル構造に前記ステレオスコピックカメラおよびディスプレイ情報を保存するステップと、

をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 9】

前記ステレオスコピックカメラおよびディスプレイ情報が、

ステレオスコピック区間に対するカメラおよびディスプレイ情報を提供するステレオスコピック区間の個数、前記ステレオスコピック区間を識別するためのアイテム ID、前記アイテム ID の参照可否に対する情報のうち少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 8 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 10】

前記第 1 基本符号化ストリームおよび第 2 基本符号化ストリームのうち予め設定されたストリームにリンクされるビデオ関連ノードを備える前記ステレオスコピックコンテンツに対するシーン記述情報を前記ファイル構造に保存するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 11】

前記ビデオ関連ノードが、前記予め設定されたストリームに対応する ID またはメディアストリームにリンクされることを特徴とする請求項 10 に記載のステレオスコピックコンテンツの保存方法。

【請求項 12】

ステレオスコピックコンテンツを保存するファイルフォーマット構造であって、

前記ステレオスコピックコンテンツの符号化ストリームを保存するメディアデータボックスと、

前記ステレオスコピックコンテンツが 2 個以上の基本符号化ストリームを有する場合、前記基本符号化ストリームを主要トラックおよび付加トラックに区分する情報を保存するトラック参照ボックスと、

を備えることを特徴とするファイルフォーマット構造。

【請求項 13】

A V C S E I に基づいてステレオスコピックコンテンツを保存する方法であって、
A V C に基づいて符号化されたステレオスコピックコンテンツを保存するステップを含み、

「s t e r e o v i d e o i n f o r m a t i o n S E I」が、ステレオスコピック映像構成が「s i d e b y s i d e」タイプであることを示す情報を含むことを特徴とする方法。

【請求項 1 4】

「r e s e r v e d _ s e i _ m e s s a g e」に基づいて前記ステレオスコピックコンテンツの各ストリームに要求されるカメラパラメータおよびディスプレイ情報を保存するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記ステレオスコピックカメラおよびディスプレイ情報が、

ディスプレイパラメータの存在可否に対する情報、カメラパラメータの存在可否に対する情報、カメラ移動情報、レンズからイメージ面までの距離情報、ベースラインから収束点までの距離情報またはカメラの配列情報のうち何れか 1 つ以上を含み、

左右の映像間の最大視差または最小視差情報を含むことを特徴とする請求項 1 4 に記載の方法。